

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年9月10日			
平成15年度	事業コード	17110	電話	042-769-8299
担当部課名	企画部	広聴広報	課	広聴 班
事務事業名	市政モニター			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第7章	個性豊かなコミュニティづくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	市民主体のまちづくり	63以前年度
施策名	第1施策	個性豊かな地域づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

市政モニター運営要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
市政について市民からの意見、提案等を計画的、継続的に収集し、施策の企画立案や行政効果の測定等に活用することによって、市政の民主的、効果的な運営を図るために実施する。	一般市民
	対象数 60人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・市政モニター会議の開催 6回 ・市政モニターアンケートの実施 5回 ・施設見学会 1回 ・市政への任意提案 38件 ・総事業費 634千円 ・報償費 597千円 ・需用費 38千円 	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	なし
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標	会議出席率 73.3% アンケート回収率96.7%	会議出席者延べ240人中176人 アンケート回答者延べ291人 ・モニターA 191人 (95.5%) ・モニターB 100人	地域性、年代等考慮してモニターの選考にあたり選出しているため、最大の出席率を確保したいため	—	会議開催 5回	会議開催 6回	会議開催 6回	会議開催 6回
活動指標	会議開催6回 見学会1回 アンケート調査5回	会議等開催予定回数7回 ・会議6回 ・見学会1回 アンケート調査予定回数6回	庁内にモニター会議及びアンケート調査の依頼をしているが、会議及びアンケート調査の依頼件数把握のため	—	会議出席者 206人	会議出席者 176人	会議出席者 216人	会議出席者 216人

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	920	1,021	648	890	890
	人員・時間数	1人・720	1人・720	1人・720	1人・720	1人・720
	人件費	2,995	2,995	2,995	2,995	2,995
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	3,915	4,016	3,643	3,885	3,885
特定財源		0	0	0	0	0
対象数		50人	50人	60人	60人	60人
対象の単位あたり経費		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	市政に対する意見、提案等を市民からの声を聴く場として重要であるが、庁内においての利用度が低い現状である。職員の意識改革も必要である。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	市政モニター会議やモニターアンケート調査による、市民からの声は事業課の施策に反映されている。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	市政モニターは公募により募集をし、選考基準に基づき地域性、男女別、職業別、年齢別等を考慮し公平な選出を行っている。また、平成14年度から在宅モニター制を導入している。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 市政モニターの存在意義を庁内に知らせ、施策の実施にあたり市政モニターを利用させる。	手段	会議参加1回につき2,000円を1,500円(交通費相当額)に引き下げる。
		削減額	140 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
		他自治体においても同様の制度があるが、本市に比較し経費は少ないようである。
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

市政世論調査の一貫として位置付け、市政モニター会議への諮問等により活用を図る。年齢的な偏りを解消するため、在宅モニター制度を発足したが、変化は見られなかった。

12 二次評価コメント

モニター制度のあり方の見直しを検討すること。
